



ロバート・メイブルソープ「パティスエス」1976年 © The Estate of Robert Mapplethorpe

LOVE'S BODY

Rethinking Naked and Nude in Photography

ラヴズ・ボディ ヌード写真の近現代

1998 11月12日(土) 1999 1月17日(日) 2階企画展示室

休館日 毎週月曜日および12月28日・1月4日(ただし11月23日は開館、翌24日休館)
開館時間 10:00-18:00(木・金曜日は20:00まで) 入館は開館の30分前まで



東京都写真美術館

主催 東京都写真美術館/朝日新聞社
後援 東京アメリカン・センター/アイルランド大使館 協賛 HI/EIDO
協力 SUNTORY/日本航空/富士ゼロックス株式会社/プロラボ・ダック/江の島水族館
■観覧料: 一般・大学生=600(480)円/小・中・高校生300(240)円
■常設展との共通観覧料: 一般・大学生=1000(800)円/小・中・高校生500(400)円
()内は20名以上の団体料金
*幼児、65歳以上の方、障害のある方とその介護者の方1名は無料になります(証明できるものをお持ちください)

出品作家:

E.J.ベロック

アルフレッド・スティーグリッツ

ピーター・フジャー

ロバート・メイブルソープ

ジーン・ダニング

キャサリン・オビー

リン・ピアンキ

デヴィッド・ヴォイナロヴィッチ

メアリー・ダフィー

古屋誠一

大塚 勉

神蔵美子

岡田裕子

ジーン・フレイザー

イトー・タリ

シェリル・デュニエ

スー・フリードリック

バーバラ・ハマー

セディ・ベニング



E.J.ベロック「ストーリーウィル、ニューオーリンズ」1912年頃
東京都写真美術館蔵
© Len Friedlander, Courtesy Fraenkel Gallery, San Francisco



デヴィッド・ヴォイナロヴィッチ「私があなたの身体に手を置いたとき」1990年
© The Estate of David Wojnarowicz, Courtesy P+O+W, New York



ジーン・ダニング「機関 4」1992年
© Joanne Dunning



キャサリン・オビー「セルフ・ポートレート/朗読者」1994年
Collection of Gary and Tracy Mezzatesta
© Catherine Opie, Courtesy Regen Projects



古屋誠一「クリスティーネ・フルヤ・ゲッスラー、グループ」
1990年3月2日
東京都写真美術館蔵 © FURUYA Seichi

「ラヴズ・ボディ——ヌード写真の近現代」展は、写真表現の中でも特にヌードに焦点を当て、従来の表現様式によってではなく、視線の力学によってヌード写真を考える試みです。ヌードは写真の発明以前から絵画や彫刻など美術のあらゆる分野において主要な主題であり続けてきました。そして写真が発明されてからは、その黎明期から現代まで、様々なヌード表現が試みられてきました。しかしヌードにおいては表現もそれに対する評価も、男性の眼で決定されてきた歴史があります。ある種の身体は繰り返し提示され、ある種の身体は永い間不問にされてきました。繰り返し提示された身体とは、言うまでもなく、男性が理想としてきた女性の身体、若く均整のとれた健康な身体、ヌードです。様々な点で理想から逸脱し、〈美しくない〉とされた身体は、身体表現においては疎外されてきました。

この展示会は「女」という他者の視線から、ヌード写真の既存の枠組みおよびヌードの歴史を読みみなおします。ヌードをエロスや性の表象としてだけでなく、関係性・主体性の観点から捉えています。特に新しい身体表現が出現した1970年代以降のヌードを、写真作品だけでなく、パフォーマンスや映画なども加え、もう一人の他者であるゲイおよびレスビアン、の視線等を中心に、多角的に考えたいと思います。男という他者によって規定されてきた〈美〉の範疇や価値は、人間一般の〈美〉ではなく、単に男という一つの視点によって築かれたものです。そうした〈美〉を改めて考察するとともに、〈美〉だけではなく新たな様々な身体、の表象の可能性や意味を考える試みです。



ピーター・フジャー「無題」制作年不詳
© The Estate of Peter Hujar, Courtesy James Danziger Gallery, New York

■講演会

1998年12月12日(土) 午後3-5時
講師:
上野千鶴子(東京大学教授、社会学)
小倉利丸(富山大学教授、現代資本主義論)
会場1Fホール、先着200名、入場無料

■ライブ・パフォーマンス

メアリー・ダフィー
「ある身体物語 Stories of a Body」
1998年11月14日(土) 午後4時-4時30分

イトー・タリ

「わたしを生きること」

音: 千野秀一/ビデオ編集: 山上千恵子

11月21日(土) 午後4-5時(公開録画)

11月23日(月) 午後4-5時

11月27日(金) 午後6-7時

11月29日(日) 午後4-5時

会場1Fホール、先着200名

チケットのパフォーマンス/映画鑑賞券にて、1日限り有効

*11月19日(木) 29日(日)の期間中、企画展示室内でイトー・タリのゲリラ・パフォーマンスが行われます。

■フィルム上映

A: 映画「テンダー・フィクションズ」
アメリカ/1995年/58分/カラー/16mm
監督: バーバラ・ハマー
配給: イメージフォーラム(東京)
B: 映画「ハイド・アンド・シーク」
アメリカ/1996年/65分/モノクロ/16mm
監督: スー・フリードリック
配給: イメージフォーラム(東京)
C: 映画「ウォーターメロン・ウーマン」
アメリカ/1995年/80分/カラー/16mm
監督・脚本: シェリル・デュニエ
制作: バリー・スウィマー、アレクサンドラ・ジュハズ
配給: アップリンク(東京)
D: 映画「それは愛じゃない」
アメリカ/1989-95年/84分/モノクロ/16mm
監督: セディ・ベニング
配給: イメージフォーラム(東京)

■フロア・レクチャー

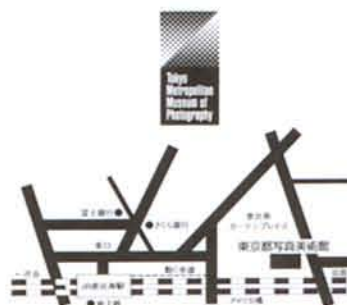
毎月第2、4金曜日 午後1時30分より
当館学芸員による展示解説を行います。

■上映スケジュール

	13:00~	14:30~	16:00~	18:00~
11/15(日)	A	B	C	
12/4(金)		A	B	C
12/5(土)	A	B	C	
12/6(日)	A	B	C	
12/11(金)		A	B	C
12/13(日)	A	B	C	
12/18(金)		A	B	C
12/19(土)	A	B	C	
1/8(金)		A	B	C
1/9(土)	A	B	C	
1/15(金)		A	B	C
1/16(土)	A	B	C	

会場1Fホール、先着200名
チケットのパフォーマンス/映画鑑賞券にて、1日限り有効
*Dのみ展示室内にて会期中随時上映

■次回企画展 「東松照明」展(仮称)
1999年2月6日(土) - 4月4日(日)



東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都目黒区三田1-13-3 電話03-3280-0031
NTTハローダイヤル03-3272-8600
http://www.tokyo-photo-museum.or.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
お車でのご来館はご遠慮ください